

議会
だより

ふながた

No.141

22年/1

平成22年1月22日



2010年 昇る朝日

年頭のあいさつ	2 P
11月臨時会・12月定例会概要	3 P
議案審議・一般質問のゆくえ	4 ~ 6 P
一般質問	7 ~ 10 P
委員会活動・全員協議会	11 ~ 12 P
町民の声・請願・陳情	13 P
えがったなあ・編集後記	14 P



正月行事 みず木だんご

新たな未来に期待して



町議会議長 信夫 正雄

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 昨年、アメリカに端を発した不況の波が世界同時不況へと広がり、日本においても派遣社員の解雇など暗いニュースが続きました。
 そんな中で、政権交代の風が民主党連立政権を誕生させるなど、大きな変動の年でもありました。
 その余波は新年へと持ち越され、「コンクリートから人へ」と旗先をかえた民主党も、今だ続く経済不況による財源不足に、国債の増発やマニフェストの後退、政治献金問題などが内閣支持率の低下へとつながり、多くの問題を抱えての船出となってしまいました。
 一方で地方交付税の増額が予算化されるなど、地方への配慮もみられ、町政運営に活気が出ればと期待しているところです。
 しかし、地方交付税に頼る他方本願的な町政から少しでも脱却すべく、町独自の農家所得の底上げや、雇用・定住促進対策を考える必要があると思えます。
 今年は「寅」年。「勇猛果敢にして冷静沈着」に、我々議員一同全力を挙げて頑張りますので、本年も宜しく御指導賜りますようお願い申し上げます。
 年頭にあたり、皆様のご多幸とご健勝をお祈りし、ご挨拶といたします。

- 議長 信夫 正雄
- 副議長 八 鍬 太
- 議員 佐藤 勝
- ” 森 晃
- ” 叶内 太一
- ” 叶内 富夫
- ” 野尻 益夫
- ” 大場 清之
- ” 加藤 憲彦
- ” 沼澤 正則
- 事務局長 松田 清司
- 主 査 大場 正江

緊急雇用対策事業

若あゆ温泉・県民ゴルフ場周辺のナラ枯

小国川河川支障木の伐採

第7回臨時会
11月2日
第8回臨時会
11月27日
12月定例会
8日～10日

12月補正予算額

会計名	補正額	予算総額
一般会計	2,700万円	38億5,063万円
特別会計	4,630万円	7億1,280万円
国民健康保険	50万円	6億4,640万円
介護保険	170万円	2億3,280万円
簡易水道	10万円	3億5,570万円
農業集落排水	10万円	1億6,560万円
公共下水道		

12月定例会は12月8日より10日まで
 3日間の会期で開催され、提出された
 全議案を原案通り可決しました。
 また、経済情勢の悪化に伴う雇用と
 生活を守る緊急対策を求める等の意見
 書10件を議決し、政府関係機関に提出
 しました。

主な付議事件

- 臨時会 11月2日
 - 一般会計補正予算
- 臨時会 11月27日
 - 特別職、一般職給与に関する
条例の一部改正
- 12月定例会
 - 一般会計・特別会計補正予算
舟形町若あゆ温泉指定管理者
の指定
子育て支援住宅新築工事請負
契約の一部変更
最上圏域下水道共同管理協議
会規約の一部変更



町民課勤務風景

臨時会(11/27)

舟形町一般職員の給与の改正

議員 今回の改正は、景気回復の妨げになると考えるが、町の経済活動に使われるような方策として、地域振興券にできないのか。

総務課長 民間との格差があり、公務員に対する見方が厳しいので、減額は仕方ないと考えます。

町長 人事院勧告は、経済不況の中で公務員も民間の給与に準拠するということであり、経済については明示していないようです。市町村が自由にできる財源として、21年度の2次補正を地方に回してほしいという要望を総務省にしています。地域経済については、次の段階で考えていきます。

定例会

一般会計補正予算

議員 コミュニティ助成金の減額の内容は。

まちづくり課長 財団法人自治総合センターから補助金をいただいて事業を行っています。今年度沖の原町内会の祭り用品、内山町内会の健康用品、下長沢連合町内会の太鼓関係を要望していましたが、下長沢以外が採択にならなかった分を減額しました。

議員 緊急雇用対策事業の内容は。

振興課長 新庄毛がみ農協に委託し、実証施設として広く町民に施設園芸を広める目的で若い方4人を雇い、栽培管理をしながらその技術を習得してもらいます。具体的には2月、3月にかけてネギなどの苗作りの技術習得で、これから公募します。

町長 国県の2つの補助制度がありますが、今回国・県から合わせて7100万円をいただいております。73人の雇用は、山形県内で5番目、新庄農上地区では1番です。今、応募が殺到しています。来年度以降も予算を計上したい考えです。

臨時会(11/2)

一般会計補正予算

議員 前倒しをして大学入試の受験生に新型コロナウイルスエンザ予防接種を行えないか。また、接種費用の補助の考えは。

町民課長 国・県で基準を定めているので、今の段階ではスケジュールとおりの接種になります。接種費用の助成については、優先接種対象者の生活保護世帯と町県民税非課税世帯に対し、全額助成を行い、それ以外の町独自の補助金は今のところは考えていません。

11月2日の臨時会以降に、次のようになりました。
町県民税課税世帯において、1歳から中学3年生に1回分の3600円を町単独助成します。また、優先接種者以外の非課税世帯にも助成を実施します。

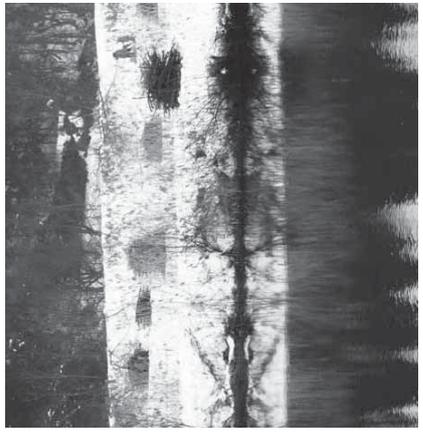
議員 緊急雇用対策事業で、一定期間の雇用でなく技術習得できる雇用対策は。

振興課長 今回は、6カ月以内の雇用ですが、民主党のマニフェストの中で、農業部門で働きながら技術習得できる制度があると聞いています。具体的に対応できる事業があれば、取り組みたいと思います。

まちづくり課長 介護部門で研修中に技術習得できる制度があり、現在研修を行っています。今後何回かの研修を計画していますが、3年間の期限付き事業です。

議員 女性向けの雇用も必要では。

まちづくり課長 今回は、ナニ枯れや河川の支障木に対応しましたが、今後は女性向けの雇用も考えていきます。



河川支障木の伐採(小国川十二河原地区内)

議員 河川の支障木の伐採計画は。

振興課長 支障木の伐採は、町の建設業組合に業務委託する計画です。

議員 会社の総賃は量小限に抑え、作業員の賃金の確保を。

振興課長 建設業組合とのこれからの話し合いになりますが、雇用促進が主であり、会社の利益だけでなく賃金に反映されるようも願っています。



通信指令課(消防本部)

議員 当初予算で計上している、消防本部と電話回線をつなぐシステムの工事は終わっているのか。今回の全国臨時臨時警報システムの工事との関連は。

総務課長 当初予算には計上していますが、まだ工事はしていません。工事内容が重なるので、これから一体的に取り組みます。



大場 清之 議員

雇用の創出について

スピード感を持って雇用の創出に努力

質問 わが国の失業者は363万人に上り、失業率は5.3%と高い水準にあり、年収200万円以下で生活する人は1千万人を超え、県内でも10万人を越えたと聞かれます。また、今年12月までに職を失う予定の非正規労働者は全国で24万4300人と見込まれ、県内でも5万789人と推測されます。そのような中、舟形町でも80数名の従業員いた誘致企業の旧ウツシカワ

ソーイングも撤退したこと、も今日この頃の出稼働きも、さらに心配される事は、県教委の発表では、高校生への地元就職を希望する生徒にとっては「狭き門」で、2245人が県内企業を希望する中、内定者は1099人で、内定率は49%となり11.7ポイントも落ち込んでいる状況です。今後町では雇用の場の確保をいかにして進めていくのかをお聞かせします。

町長 町では、現在の緊急雇用対策事業として、71172万円の予算を計上し、農業振興や道路除草、河川等の支障木や草刈り、伐採の業務に27名の雇用を創出し雇用促進を進めています。また、本年度から山形県最上地域雇用促進推進協議会が、2億9千万円の事業費で就職サポート相談窓口を開設したり、ものづくり技術員育成研修や地域農産物等を活用した商品開発、地域観光案内人の育成を行ったりする事業などを展開していますが、この事業費について、町が実施できる経費として、9百万円が割り当てられ、介護資格を取得するためのセミナーなどを実施し、雇用につなげられるよう国県町上げて対策を講じています。

その他、企業誘致に取り組むため、新たに誘致企業の紹介制度も盛り込んだ「企業誘致及び雇用促進補助金交付規程」を創設し、ウツシカワ跡地等への企業誘致に全力で取り組んでいます。公共施設等の管理業務なども若者の雇用となるよう取り組む考えです。また、11月25日に実施されました舟形町開発商品品評会での山形地鶏の商品化などや南部体育所跡地を新用した福祉産業による雇用の創出なども図りたいと考えて、多くの皆さんから情報提供や御意見を拝聴しながら、スピード感を持って雇用の創出に努力していきたいと考えています。



跡地利用を待たれる旧ウツシカワ工場



新しく配備されたロータリー車

議員 ロタリー車購入費の減額補正の内容は、町内に定住するのに雪が障害になっているので、ロータリー車の計画的な購入を、町民の通勤時刻の多様化に対応した除雪計画を、
振興課長 減額補正は、当初3500万円の予算を計上しましたが、2100万円で落札になり、議案が1400万円となったためです。除雪車は購入しています。ロータリー車の配備は、国の助成により計画的な更新を図ります。集落協議会の中での要望を取り入れ、対話をしながらきめ細か

議員 保健体育費で激励金6万円の補正をしているが、その内容と、役場庁舎への垂れ幕の考えは、
教育次長 今後、冬季国体やインターハイ、国際大会に出場する選手に備えるの補正です。垂れ幕は、基準に基づき対応したいと考えています。

舟形若あゆ温泉の指定管理者の指定

議員 若あゆ温泉、清流センター並びにふれあい広場指定管理者の指定について、なぜ公募しないのか。
町長 現在の実績と雇用の場などを考慮し舟形町振興公社を指定するものです。3年後に公募が、公社指定かを考えたいと思います。

議員 グラウンドゴルフ場を整備する考えは、
町長 若あゆ温泉との相乗効果で、あゆらウンド、ゴルフ場等の今年の利用者は25000人です。グラウンドゴルフ場整備については検討します。

シリーズ 一般質問のゆくと

(平成19年12月定例会)

質問 町税および使用料金等の未納額が膨大であり、専門職員で組織する収納対策室等の新設が必要ではないか。

答弁 最上管内で徴収専門職員を配置しているところもありますが、他町村と比較して税担当者が数人少ない状況であり、徴収体制の見直しを今後の検討課題とします。

現状 20年4月に町収納対策室(室長 会計室長)を設置し、町民課、振興課、会計室が連携して収納対策に取り組んでいます。20年度の収納率は、町税等は県内第2位(97%)、国民健康保険税は第7位(約95%)、長寿医療保険料は第1位(100%)などの実績です。21年11月からは、徴収嘱託員を配置し、収納対策に努めています。



沼澤正則 議員

役場組織の機能的な運営について

全体の事務事業の見直しが今後の課題

【質問】 役場組織の機能的な運営について3項目質問いたします。

副町長の一年間の成果を具体的な数値や事例で教えてください。

財政規模からすると住民100人に対し職員は1人ということですが、現時点では65人が適正ということになります。65人で行う業務は、どんなやり方が良いのかは、やってみなければわかりません。2週間ぐらいの期間



町のトップオブセールスマン（東京）

でシミュレーションを行うてみてはどうでしょうか。

現在、子どもたちの放課後のスポーツや文化的な活動の技術指導ができる方の確保が大変です。役場職員の方で、専門の技術を持つ方は、放課後の時間帯に子どもたちの指導をすることで勤務とみならず、この課題を解決できると考えますが、いかがでしょうか。

【町長】 副町長を配置したことに伴い、課長等の業務の充実につながる町長の業務の拡大にも寄与している実感しています。また、副町長の専任職に専ら市政課の業務や職員の資質向上に向けた適切な指導を適時に実行しており、各課等の連携や調整機能に精通し、町民の意見・提言を取りまとめるなど町民の要望に大いに応じていると思えます。

平成19年3月、舟形町議会地域活性化調査特別委員会から、町財政の健全化を図るための前向きな取り組みとして、最終目的として人口千人当たり職員10人以下が望ましい。当面5年間は職員の採用を見合わせることにあります。将来65人体制で行政運営していくことになれば現在の職員数から22人削減する必要があります。

福祉行政の部門などの事務事業は人口規模に照らして一定の職員の配置が必要とされます。小規模な自治体ほど職員数が多くなる傾向があります。全体の事務事業の見直しは今後の大きな課題となると思います。

町職員の中にも、多岐活動や多少の指導に当たっている者もいますが、放課後の指導時間を「勤務時間」として認めてもらえないか。この事ですが、職員もそれぞれ業務を抱えていますので、勤務時間内でのスポーツ指導については町民の理解を得ることは難しいのではないかと思います。



八鍬 太 議員

基本構想策定のプロセスは

町・自立計画に反映



大折町内会意見交換会

【質問】 現在町では第6次基本構想の策定が進められていますが、全戸対象アンケート調査をはじめ、各集落でのまちづくり意見交換会での意見集約など、町長の施政方針のひとつである「町民の目線に立ちたまら

づくり」の実践の現れたであろうと感じているところで

す。

しかし、本来であれば、3年をかけた策定を、ここを今回にまとめ、年の決定スケジュールのなかで短期決戦型のように感じますが、的確に社会情勢や経済状況の動向を判断し、「舟形町」誕生以来5期に渡って制定されてきた基本構想が、発展的に継承された計画内容になるか疑問が残るところであります。

特に期間内にある「第5次舟形町基本構想」の検証は、確実に行われたのでしょうか、成果と課題を列記しただけでは意味がないのではないのでしょうか、今回の計画にどう反映されているのかを伺います。

【町長】 議員の言われる「町民の目線に立ちたまらづくり」を実践するための一つの方策として、「町民の意見を反映する姿勢と努力」と「行政と町民が知恵を出し合い、自前努力を礎にまちづくり・人づくり」の実現を念頭に、第6次基本構想策定にあたり住民参加の機会を多く設定したところで

す。

第6次基本構想については、昨年度より「まちづくり審議会」で協議し、自立の町を進めていくために、今後10年間で何をめざしていくのか、それを達成するために何を柱とするのか、理想の検証作業も始めていく必要がある。民意反映を重視すべく、ハード事業からソフト事業への転換等が議論されました。

検証につきましては、現基本構想の中間年である平成16年度に前記の検証を行い、後期基本計画として「舟形町自立計画」に反映しました。

さらに、過疎計画及び財政計画を毎年見直ししており、完了した事業や未実施の事業はなされていないかを、その度ごとに検証してきまして

す。

現在は、具体的な項目となる「基本計画案」に、検証成果や課題、そして二度のアンケートや意見交換会での意見や提言を反映すべく作業を進めており、今後「運営するまちづくり調査特別委員会」、「基本構想策定委員会」、「まちづくり審議会」で検討していきたいと考えています。



野尻益夫 議員

第六次基本構想の策定について

地域主権の確立を

質問 舟形町は、少子高齢化による人口減少、経済不況による雇用の確保など、こうした中での若者の定住促進や産業振興など、本町を取り巻く課題は多く、町は平成22年から今回、平成

31年度までの10か年計画である、「第6次基本構想」策定にあたり、6月には全世帯のアンケート調査を実施。また、9月下旬から11月下旬にかけては、全町内会を対象に「まちづくり意見交換会」を開催しています。

そこで、この点についてお伺いいたします。

まちづくり意見交換会での主な意見や要望の内容について、今後、町の10年を担う基本構想と基本計画、重点目標等を、どう計画に反映させ、協働のまちづくりを進めていこうとしているのか。

町長 まちづくり意見交換会は、9月8日の不交町内会を皮切りに、22カ所（395名の参加）で実施しました。主な意見や要望は、㈱ウツシカローイングなどの企業が撤退や倒産をしたこともあり、一番多かったのが企業誘致による雇用対策でありました。その他、来年4月に開所する小規模多機能等施設の採用状況、要介護者の待機を減らす福祉施設の整備計画、若者流出対策、新規作物の導入や農業加工・観光商品開発などの促進、小学校統合問題そして国庫町道改修などについての意見が寄せられました。国庫への要望等については、既に対応しているところと、

「今後、町の10年を担う基本構想と基本計画、重点目標をこの計画に反映させ、協働のまちづくりを進めていこうとしている

か。」ということですが、基本構想策定の途程にあたり、町の根幹である地方交付税や公共事業の動向が不透明であること、次期選挙法も行方不明であること、加えて鳩山政権は、「地域主権の確立」を掲げており、国と地方の關係の抜本的な転換を示唆しています。このように、町の将来像や進むべき方向は、国や県の政策によっても大きく左右されてしまいますが、町を取り巻く社会情勢を見極め、第5次基本計画等の課題を反映すると共に、町づくり意見交換会やアンケート調査の意見を踏まえ、また、国庫の計画との整合性を図りながら、町民の意見を反映した基本構想等にしていきたいと思います。



地域での意見交換会（内山）

活気あるまちづくり調査特別委員会

11月27日（金）、前回の委員会に引き続き「舟形町第6次基本構想」をテーマに開催しました。

現時点での策定の進捗状況と経過を把握するため、以下の点についての報告を受け質疑に入り、内容の確認と今後の議会としての対応を協議しました。

- 1 民意反映に関する事業経過
アンケート調査の実施結果
まちづくり意見交換会の実施と参加人数
- 2 今後の策定作業の計画について
町内全世帯へのアンケート調査の配布
基本計画案の策定
意見交換会・アンケート調査の集計
関連資料の精査、内容策定と差込み
- 3 議会・委員会の開催
- 4 構想、計画策定上の課題について
- 5 第5次構想の検証もどう反映するか
広報にて検証記事や特集、新構想の概要を記載
質疑においては委員から少子化対策の明確化や新工ネルギーへの取り組みを産業化にできないかなどの意見が出され、今後一頁を目標に委員会としての総括を行うことを申し合わせて開催しました。

総務振興常任委員会

11月18日、町商工会の運営状況と、商消防支署（仮称）建設進捗状況、子育て支援住宅2号棟の建設状況を調査しました。
プレミアム20%付商品券発行（21年度へ回）により

年々減少する販売額に一定の歯止め効果があり、委員の意識改革と、会員個々の営業努力が随所に現われてきました。

3 町内の商工会の合併後、町補助による商店活性化を図るプレミアム商品券を発行するすれば、使用出来る地域への誘導はどうか。合併後の商工会運営については、より一層の自助努力を希望します。

南消防支署建設は建物の基礎工事が予定どおり進行していましたが、各種講習会が実施可能な研修室や、職員のアライメントにも配慮した機能性に優れた設計になっていましたが、冬期間の地吹雪にも万全な対策をとられたい。

子育て支援住宅の進捗状況は、工程より早く進み屋根と外壁工事は年内に終わる予定で、屋根の大地熱融雪システムは、屋根全体の3分の1の面積で済むように改良されていました。

子育て支援住宅用地の完成後は20戸が入居し、子供も大幅に増加が見込まれますので、遊び場の確保に努めていただきたい。



建設現場視察（消防支署）



講演を聴く町内議会議員（円内は江藤氏）

県町村議会議員研修

10月13日、山形国際交流プラザで、県町村議会議員会主催の平成21年度議会議員研修会が開催されました。県町村議会議員会は、今年創立60周年を迎え、山梨学院大学教授の江藤総昭氏とNHK解説委員の神志名泰裕氏を招き、記念講演が行われました。

江藤教授の講演内容
テーマ「自治体社会における議会の役割と課題」
議会は、住民自治の根幹であり、「住民参加」「執行機関との切実な」「討議の重視」が大切だ。「自治の水準を下げない」ために「地方議会を時代に適合した、新しい議会活動と議員活動」を考えていかなければならない。

神志名委員の講演内容
テーマ「最近の政治情勢について」
鳩山新政権策定直後の世論調査によると、鳩山政権の党内支持率で、政党支持率も民主党が圧倒的な支持である。「脱官僚依存」「政治の変化」を望んでいる。「子供手当」や「高速道路の無料化」は賛否が分かれる。今後の政権維持には、「危機管理」や「党内・与党の結束力」「参議院選挙の世論の支持度」が課題である。
いずれも、今後の抱括したる有意義な講演でした。

議会運営委員会

11月19・20日に議会運営委員会所管事務調査の一環として、議会活性化についての視察研修を宮城県蔵王町議会において行いました。

目的として、関心になりがちな議事を如何にして活性化に導くか大きな課題としてあるため、先進地である蔵王町議会において視察研修を実施しました。

蔵王町議会では、議会の監視機能のさらなる充実と強化を図り議会が主導的な活動ができるように、議会改革を検討しています。

具体的に議会改革を進めていくこと、「議会報告会」「会議録の公開」などを実施していました。

議会改革の主旨は「透明議会」の導入で、全国に先駆けて透明議会制度を導入していたことです。



議会活性化の研修（宮城県蔵王町）

最上地区研修会

10月16日 大蔵村折いでゆ館で、最上地区の7町村の議員が一堂に会し、平成21年度最上地方町村議会研修会が開催されました。

第29次地方制度調査委員会委員で山形大学文学部教授の金子優子先生が「地方議会の在り方」を求められているもの」というテーマで講演されました。

講演の概要は次のとおりです。

- 地方議会の在り方について
 - ・地方議会、議員が住民全体の福祉の向上に貢献していることを住民に理解してもらうこと
 - ・議会がなくなると不都合が起きることなどを伝えること
 - ・住民に自ら地方議員を支えるという意識を持ってもらうこと
 - ・わかりやすい形で情報を提供し、透明化を図ること
 - ・窓口として有効なツールであるので、HPの充実を図ること
- など、たくさんのお話をいただきました。

声

皆さんの声を聴くチャンス。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

明けましておめでとございます。

いざさかの風雪も静まり、まぶしい陽光がやさしく野を囲むような平和を感じさせる今日この頃と思っております。

猿羽根山を駆け巡り、清流小国川と戯れ育ってきた我が子が今春、親元を離れ新しい生活を始めるようとしています。まだまだ教えなくてはならない事が沢山あったはずなのに、少し寂しく感じる反面、夢を追う彼の姿をまた見る事ができると思うと、楽しみでしかたありません。15歳の彼にはとても大きな決断です。

育ってきたこの町を離れる事には不安もあることと思います。何か迷い前に進めない時、この町の事を思い出す力が満ち溢れ元気になるような、そしてここに帰った時には心洗われ暖かく迎えてくれるふる里舟形であってほしいと願っております。



豊岡 恵美さん（長者原）

請願・陳情

12月の定例会で審査した請願陳情は次のとおりです。水田農業政策の確立についての意見書提出を求める請願

請願者 新庄もがみ農業協同組合 探 択

代表理事組合長 安食 賢一他 日本農業を守る貿易交渉対応についての意見書提出を求める請願

請願者 新庄もがみ農業協同組合 探 択

代表理事組合長 安食 賢一他 教育予算の拡充を求める意見書の提出を求める請願

請願者 山形県教職員組合最上地区支部 探 択

支部長 矢部 暁 「協同労働の協同組合法(仮称)」の早期制定を求める意見書に関する陳情

請願者 日本労働者協同組合連合会センター事業団 探 択

真岡県事業本部 本部長 平山 清一 市町村管理栄養士設置に関する陳情

請願者 社団法人日本栄養士会 継続審査

会長 中村 丁次他 継続審査となっていた陳情

日米FTA反対、農家経営の危機打開についての意見書提出を求める陳情

政府備蓄米をルートに基づき買入れることについての意見書提出を求める陳情

今期採択の請願・陳情についての意見書を政府関係機関に提出しました。

今定例会において、議員発議して後記の意見書を議決し、政府関係機関へ提出しました。

意見書

「新過疎法」の制定促進を求める意見書
1 「新過疎法」の制定にあたっては、現行法の延長ではなく、過疎地域の果たす役割を評価し、新たな過疎対

全員協議会

平成21年第12回全員協議会（11月2日）
「緊急雇用対策事業・モデル住宅整備事業」「例ろっシカワソラインガ山形工場の跡地利用」について、町当局より説明を受けた。

平成21年第13回全員協議会（11月27日）
「平成21年度人事院勧告の概要」について、町当局より説明を受けた。人事院勧告に伴う一般職、特別職（議員含む）、警察官の給与改定の案例決定が、第8回臨時議会で議決された。

平成21年第14回全員協議会（12月9日）
議員発議による「新過疎法の制定を求める意見書（案）」他3件の意見書を採択された。
常任委員会に付託された請願・陳情について報告を受けた。

最上区域市町村圏事務組議会運営委員会三委員会の委員の報告を受けた。

総務振興、議会運営の委員会所管事務調査の説明を受けた。

今後の議会の活性化について、研修視察した宮城県蔵王町議会の取組みについて検討がなされた。

策の理念を明確にすること
2 「平成の大合併」を巡り、過疎地域の様々な特性を勘案した「人口密度」「森林率」などを加えた新たな指定要件・指定準拠を設定すること
3 過疎対策事業債の対策事業については地域の実情に合わせた要件緩和・弾力的運用を図ること
農山漁村の多面的機能を維持する施策の促進を求める意見書

1 条件が不利な状況にある中山間地域における農業生産の維持を図り、農山漁村の多面的機能を確保するための「中山間地域等直接支払制度」を充実・強化すること

2 中山間地域の住民生活に大きな影響を及ぼす有害鳥獣の被害を解消するための捕獲体制の強化、被害防除、生活環境管理などの対策を強化すること

3 木材の利用を拡大するとともに、健全な森林の整備・保全を進めて「美しい森林（もり）づくり」を展開するため、必要な財源を確保すること

農業共済事業の健全な発展を求める意見書

国は農業災害の補償法に基づき現金の2分の1を負担し、より多くの農家が農業共済制度に加入できるように支援してまいりました。

今般の事業仕分けにより農業共済制度の負担金が削減され、結果的に農家の負担が増大することは、わが国の発展を阻害することになります。

よって、農業共済制度の健全な発展を図るとともに国の負担金の縮減が農家の負担増大につながらないように、必要な予算措置を講ずることを強く求めます。

経済・金融不安から国民生活・雇用を守ることを求める意見書

1 過激な円高による影響を緩和する中小企業金融対策を充実・強化すること

2 雇用調整助成金制度の拡充などによる雇用の維持・確保と、長期失業者に対する職業訓練、再就職、生活住宅への総合的な支援を充実させること

3 子つし振興と経済の安定の成長を遂げるマクロ経済対策を早急に策定すること

1 過激な円高による影響を緩和する中小企業金融対策を充実・強化すること

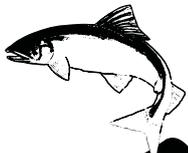
2 雇用調整助成金制度の拡充などによる雇用の維持・確保と、長期失業者に対する職業訓練、再就職、生活住宅への総合的な支援を充実させること

3 子つし振興と経済の安定の成長を遂げるマクロ経済対策を早急に策定すること



新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



えがったなあ



舟形町に嫁いで来たお嫁さん、今回は鶴岡市由良から沖の原に嫁いで来た佐藤愛鹿(旧姓佐藤)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
町役場議会事務局
TEL 0233 - 32 - 2111

議会広報特別委員会

議長	信夫 正雄
委員長	叶内 富夫
副委員長	野尻 益夫
委員	大場 清之 加藤 憲彦 沼澤 正則

舟形町に望むことはありませんか？
美味しい物がたくさんある町なので、安全で楽しい町にしてほしいです。若い人達が集う場所をもっとつくってほしい。

舟形町の良いところ・悪いところがありますか？
良いところは、自然がいっぱいあるところ。
悪いところは、今のところありません。

舟形町での生活はどうですか？
冬は雪が多くて寒いし、夏は庄内より暑いけれど、その自然のおかげで舟形のおいしいお米や野菜、果物が食べられてうれしいです。

舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
私は海育ちなのでこういった所は新鮮でした。
舟形は自然が豊かで、どことなく由良と似ているところがあって、安心します。みなさんのあたたかさがかさかさがすごくあふれている町だと思いました。

どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
友達の紹介で知り合いました。

編集後記

明けましておめでとうございませう。

鳩山新内閣が誕生し、政府は米の戸別所得補償制度を計画していますが、まだ不透明な点が多く戸惑いを感じている事と思います。国の事業仕分け作業で町の事業にも支障をきたすおそれがでてくるようです。雇用の場も少なく緊急雇用対策を講じていますが、依然として明るさが見えず円高・デフレの問題等が浮上しています。今年こそ諸問題が前向きに進み、皆様にとってよりよい年になるように祈念申し上げます。

昨年暮れから大雪が降り続いていきます。皆様にはお体に充分気をつけてお過ごし下さい。(大場 清之記)